

6年後に達成する目標
(健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標)

男性のメタボリックシンドローム及びメタボリックシンドローム予備群の割合を全国平均以下とする

健康課題の抽出

- 情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。

背景、不適切な生活習慣

■風土・気候
北西部山地をひかえ、東と南が平野と海に面し、太平洋の黒潮の影響を受けているため、温暖で雨量の多い太平洋側気候となっている。

■主な産業
神奈川県は京浜工業地帯にあり、主な産業は自動車工業（川崎、横須賀、藤沢、茅ヶ崎）、造船業（横浜、横須賀）、化学工業（平塚、小田原）、鉄鋼・石油化学工業（川崎）など。横浜市や県西部の温泉地では観光関連産業も多い。また、三浦市（三崎港）では漁業も盛ん。

■人口・世帯の状況（令和2年度国勢調査）
神奈川県の人口は924万人、総世帯数は422万世帯であり、東京都に次いで全国2位。「単独世帯」が約4割を占める。1世帯当たりの人数は2.15人であり、全国平均（2.21人）より少ない。神奈川県から他県等へ通勤している者は約120万人であり、特に東京都への通勤者が多い。

■事業所数・被保険者数（令和5年6月末時点）
事業所数：156,875事業所、被保険者数：1,057,446人、被扶養者数：596,450人
事業所数は業態別には、建設業22%、不動産業12%、専門技術サービス業11%が多い。被保険者数は業態別には、建設業13%、社会福祉・介護13%、製造業12%が多い。1事業所当たり被保険者数は、6.74人であり、全支部中最も少ない。

■生活習慣（2022年度支部別スコアリングレポート）
飲酒、食事、喫煙の生活習慣要改善者の割合が高い。（ ）内は全国順位）
飲酒習慣要改善者の割合：男性18.9%（12位）、女性5.7%（8位）
※お酒を飲む頻度が毎日（女性）、1日当たりの飲酒量が3合以上（男女）の割合が多い。
食事習慣要改善者の割合：男性60.9%（2位）、女性52.3%（3位）
※就寝前2時間以内の夕食が週3回以上、朝食を抜く者の割合が多い
喫煙習慣がある者：男性40.9%（23位）、女性17.0%（5位）、年齢別でみると男性は35歳から59歳までの喫煙率が40%を超える。女性は、45歳から54歳の喫煙率が19%と高い。

■神奈川県 平成29年-令和元年 県民健康・栄養調査報告書（抜粋）
・肥満とやせ・低栄養傾向の状況は、30代男性は3人に1人が肥満。女性は、60代で肥満者の割合が増加。女性の20代の7人に1人、30代の6人に1人がやせている。
・飲酒習慣について、50代男性の3人に1人、50代女性の5人に1人が生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしており、女性に増加傾向がみられる。
・食塩摂取量は男性10.8g、女性9.2g、全国平均は男性10.9g、女性9.3g
・野菜摂取量350g以上の者の割合は、男性32.4%、女性28.1%で全国平均より2%弱高いが、男女とも働き盛りの40代が2割未満と低い。
・喫煙率は17.3%（男性26.7%、女性8.5%）。全国平均は27.1%のため、県単位でみると喫煙率の低い県である。

■特定健康診査実施率（令和4年度）：56.8%（ ）内は全国順位）
生活習慣病予防健診実施率：60.4%（29位）、事業者健診データ取得率：4.0%（45位）
被扶養者特定健診実施率：24.4%（43位）

■健康宣言事業所数（令和5年10月末時点）：1,245事業所
事業所数に占める健康宣言事業所数は、0.8%であり、全支部中46位

生活習慣病予備群

■特定保健指導実施率（2022年度）（ ）内は全国順位（高い順）
・被保険者初回面談 12.9%（45位）被保険者実績評価 9.7%（45位）
・被扶養者初回面談 20.8%（20位）被扶養者実績評価 13.2%（27位）
・メタボ該当者減少率 26.3%（11位）（2018-2021年度の減少率）

■生活習慣病リスク保有者の割合（2022年度）
※スコアリングレポートによる年齢調整平均値
・メタボリックリスク保有者の割合：男性24.4%（22位）、女性6.0%（31位）
・メタボリスク及びメタボ予備群の割合：男性43.2%（14位）、女性12.1%（28位）
・腹囲リスク保有者の割合：男性52.6%（14位）、女性16.2%（22位）
・血圧リスク保有者の割合：男性54.8%（33位）、女性34.1%（45位）
・代謝（血糖）リスク保有者の割合：男性22.7%（32位）、女性11.0%（36位）
・脂質リスク保有者の割合：男性36.5%（23位）、女性18.1%（44位）
男性の「メタボリスク及びメタボ予備群の割合」「腹囲リスク保有者の割合」が高い傾向にある。

■生活習慣病リスク保有者の割合（2021年度）：年齢別
※医療費分析の資料・地域の医療費分析等に関するデータの追加資料より抜粋
・男性のメタボリックシンドロームのリスク保有率

35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳
11.5%	15.2%	20.6%	26.0%	29.2%	31.7%	33.7%	35.0%

・男性のメタボリックシンドローム予備群の割合

35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳
18.0%	19.1%	19.9%	19.9%	18.9%	18.1%	17.7%	18.1%

・男性の腹囲リスク保有率

35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳
11.5%	15.2%	20.6%	26.0%	29.2%	31.7%	33.7%	35.0%

・血圧のリスク保有率

35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳
23.4%	29.7%	38.5%	47.3%	54.2%	62.4%	69.9%	76.6%
29.4%	36.2%	46.1%	55.8%	63.8%	70.7%	75.1%	80.0%
12.0%	17.6%	25.6%	34.1%	40.5%	49.5%	58.6%	67.9%

■特定保健指導該当者割合（業種別上位5業態）

識別工事業	24.9%
道路貨物運送業	24.7%
総合工事業	24.6%
設備工事業	24.5%
その他の運輸業	23.0%
神奈川支部平均	18.4%

生活習慣病

■入院1人当たり医療費（2021年度、年齢調整後）（ ）内は全国順位）
入院医療費50,084円（34位）
「循環器系疾患」の加入者1人当たり入院医療費が全国平均より多い。

■入院外1人当たり医療費（2021年度、年齢調整後）（ ）内は全国順位）
入院外77,014円（25位）、調剤41,035円（6位）、歯科21,963円（10位）
「腎臓病系疾患」の加入者1人当たり入院外医療費が全国平均より多い。

■慢性腎不全患者数の推移（神奈川県・全国）（単位：千人）

	2011年	2014年	2017年	2020年
神奈川県	28	21	29	58
全国	343	296	393	629

※2020年から調査の算出方法が変わったため参考値。（出典：患者調査 総患者数）

■糖尿病性腎症による新規透析導入患者数

	2010年	2015年	2017年	2020年
透析患者数	18,258	20,454	21,156	22,209
	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
新規透析導入患者数	2,125	2,354	2,510	2,359
	(11.6%)	(11.5%)	(11.9%)	(10.6%)

糖尿病性腎症による新規透析導入患者数

	2010年	2015年	2017年	2020年
959	1,007	1,008	927	
(45.1%)	(42.8%)	(40.2%)	(39.3%)	

（出典：（社）日本透析医学会統計調査委員会）

■主な生活習慣病の年代別医療費構成比（かながわ健康プラン21：KDB集計）
40～50歳代は腎不全が多く、60～74歳は悪性新生物が多い。糖尿病は40歳未満を除くすべての世代で3番目に多い状況にある。

■神奈川県循環器疾患の総患者数は、高血圧性疾患が最も多く平成20年（2008）以降も増加傾向（かながわ健康プラン21より抜粋）

	2011年	2014年	2017年	2020年
高血圧性疾患	487	593	582	919
虚血性心疾患	32	43	54	101
脳卒中	70	92	57	69

※2020年から調査の算出方法が変わったため参考値。（出典：患者調査 総患者数）

■重症化予防事業の実施状況（令和5年10月末時点）
・未治療者受診勧奨事業では、受診勧奨実施後の受診率9.8%（全国平均8.5%）

重症化、要介護状態、死亡

■平均寿命・健康寿命（令和元年度）
神奈川県の平均寿命は男性82.07歳、女性87.88歳であり、ともに全国平均（男性81.41歳、女性87.45歳）を上回っている。健康寿命は男性73.15歳、女性74.97歳であり、全国平均（男性72.68歳、女性75.38歳）と比較すると男性は上回っているが、女性は下回っている。

■高齢化率（令和元年度）
神奈川県の高齢化率は、25.8%（全国29.0%）と低い

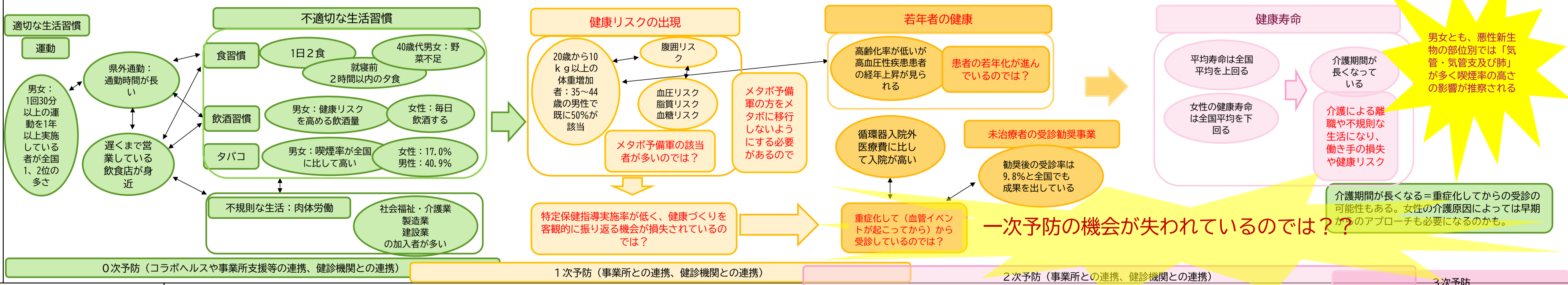
■主因死因別死亡者数（令和2年度）（神奈川県衛生統計年報）
令和2年の神奈川県の主要死因別死亡者数では、悪性新生物が24,538人と最も多く、続いて心疾患12,549人、脳血管疾患5,839人となっている。

■年齢調整死亡率（令和3年度、国立社会保障・人口問題研究所）
神奈川県、人口10万対、H1分類（「その他」を除く多い順）
女性：悪性新生物195.7、老衰117.2、心疾患101.7、脳血管疾患49.5
男性：悪性新生物375.6、心疾患190.6、老衰114.8、脳血管疾患82.5

「悪性新生物」を簡単分類（人口10万対）でみてみると
女性：気管、気管支及び肺の悪性新生物28.3
結腸の悪性新生物23.9
乳房の悪性新生物23.5
膵の悪性新生物23.0
胃の悪性新生物15.6
子宮の悪性新生物9.5
男性：気管、気管支及び肺の悪性新生物84.7
胃の悪性新生物45.3
結腸の悪性新生物33.4
膵の悪性新生物32.1
肝及び胆管内胆管の悪性新生物24.7
前立腺の悪性新生物24.1

現状

健康課題



対策を進めるべき重大な疾患
(10年以上経過後に達するゴール)

循環器系疾患の入院受診率を全国平均以下とする